

〈アジア平和貢献センター共催〉

米大統領選挙の行方と日本を取り巻く国際情勢の変化

早稲田大学社会科学部教授
なかばやし 中林 美恵子

- * 大統領選挙を巡る民主党、共和党の動き
- * 景気後退とコロナ禍という逆風
- * 米国民全体で高まる中国への不信任感
- * 実は中国カードは再選の切り札か
- * 目が離せない上下両院選挙の行方
- * 今回も焦点となる接戦州の動向
- * 増え続けるヒスパニック系有権者
- * 米国では変革期にアウトサイダーが求められる
- * 民主党はサンダースをどう活かすのか
- * バイデンに黒人層支持の追い風



柴生田 それでは開会いたします。

本日は、早稲田大学教授の中林美恵子さんにおいでいただきました。

中林先生は1960年のお生まれで、跡見学園女子大学をご卒業後、ワシントン州立大学に留学され、修士を取得されました。その後、米国の永住権を取られ、公務員としてアメリカの議会に正式採用され、10年間お勤めされました。その後、帰国後は経済産業研究所へ入られた後、跡見学園で准教授をされ、民主党の神奈川県第1区から選挙に出られて当選されました。その後、早稲田大学に移られて、准教授から現在教授をされているということです。

特にアメリカの議会関係にはたいへんお詳しいということ、今、米国の状況については第

一人者の一人であると考えております。ちょうど民主党議員の時代に私どものところでお話をいただき、それからほぼ定期的にごこへおいでいただいております。

今日は、アジア平和貢献センターとの共催の講演会ということでございまして、米国の大統領選挙が今年ございますので、それを控えてのお話をいただけるということでお願いをしております。

それでは、西原先生の方から一言お願いします。

西原 私は、本日の講演会の共催者の一方でありますアジア平和貢献センターの代表理事を仰せつかっております西原でございます。

経済倶楽部では、たいへん立派な水準の高い